



### 第7号：8月のイベント



ページ1～2

#### 【糸東会ニュース】

「第7回レベルアップ講座」  
関東会場



ページ3～4

#### 【各地区協議会（県連）ニュース】

関東地区協議会  
第2回組手審判講習会



ページ5～11

#### 【糸東会ニュース】

西日本ジュニア会員  
サマーキャンプ強化練習会  
ジュニア強化台湾遠征



ページ12～14

#### 【各支部（団体）ニュース】

糸東会九州地区  
鹿児島県糸東会  
茨城県糸東会



ページ15～16

#### 【糸東会ニュース】

「第64回空手道糸東会  
全国選手権大会」  
※詳細は、次回会報誌No.285で  
ご紹介致します。



ページ17

#### 【各支部（団体）ニュース】

東京都糸東会

#### 【糸東会ニュース】

2025年度糸東会カレンダー

日時：令和6年8月4日（日）

場所：糸東会本部道場

講師：岩田 源三 1級資格審査員

猪越 孝治 1級資格審査員

委員：我妻 登 指導委員会副委員長

大木 利夫 指導委員会委員

鷺澤 高志 指導委員会委員

参加者：12名

一級資格審査員の岩田源三先生・猪越孝治先生を講師にお迎えし、第7回レベルアップ講座が本部道場に於いて気温37℃の猛暑の中行われた。関東圏内だけでなく東北、信州、東海地区より12名の参加者を迎えた。

午前、午後共に2グループに分かれ、練士、師範、準師範、助教、糸東会4～7段の高段位取得を目的とするそれぞれの受講者に対して講義を行なっていただいた。

午前は、称号練士、師範、準師範、助教取得の9名を岩田講師にご担当いただき、「指導者としての審査を念頭に置き、淡々と号令をかけ指導するのではなくテーマを明確にして形の分解等を交えて指導する事」とご指導を受けた。

受講者は本番の審査を想定して5分間の制限時間内に各自のテーマに則り指導方法を工夫して発表を行なった。

猪越講師から、糸東会4～7段取得を目標とする3名に対して三戦、転掌、ナイファンチ及び各自の形のご指導を受けた。

午後は講師が入替わり師範、準師範、助教取得の6名を猪越講師が担当。

普段の練習時においても間違った動きや立ち方、姿勢、運足、目付けなどに対する生徒一人ひとりの挙動を見逃さない指導の重要性について、繰り返しご指導いただいた。

段位取得者6名の受講者を岩田講師が担当。

まず全員で三戦、転掌、ナイファンチ、第一指定形を行い、その後各自選択の5つの自由形の正しい立ち方や挙動について、分解を交えながら大変丁寧にご指導いただいた。

受講者からの分解の質問に対しては、教本に記載されていない細やかな技法や応用技などをご教授いただき、糸東流の技術の高さを痛感する内容となった。

閉講式において岩田講師から、審査に向けた日頃の練習に対する心構えと、糸東会の指導者としての正しい知識の習得が必要であるとの講評をいただいた。



第7回レベルアップ講座 集合写真



第7回レベルアップ講座 講習風景

## 関東地区協議会 第2回組手審判講習会

日 時:令和6年8月4日(日) 9:00~12:00

場 所:東洋大学 白山キャンパス 4号館地下1階 メイン・サブアリーナ

講 師:長谷川 克英・彼ノ矢 健一・橋本 淳

参加者:審判員19名・選手19名

8月17・18日に行われる第64回全国大会に向けて関東地区協議会主催、第2回組手審判講習会が東洋大学白山キャンパスで行われた。

開講式の後、長谷川講師による座学では、残り15秒未満で起こる様々な事例を元に各審判員の先生方に意見を求めながら時系列に基づいて解説をして頂き、個々のレベルアップが図れた。その後、2グループに分かれて、彼ノ矢講師・橋本講師による実践講習が行われ各審判員の癖や立ち位置、ジェスチャー等細部に亘り指導をして頂いた。限られた時間ではあったが予定していた時間を過ぎてしまうほどの熱気あふれる講習会となり、審判員にとっては、全国大会に向けて弾みになる勉強会となった。又、参加選手にとっても審判員がポイントとして取ってもらえる技や普段試合では出来ない技などの練習にもなり、お互いに実りある講習会となった。



開講式の様子



講習風景



# 西日本ジュニア会員サマーキャンプ強化練習会

日 時：令和6年8月11日（日）10：30～16：00

場 所：東大阪大学敬愛高校 空手道場

コ ー チ：井戸 康善（選手強化委員長）

角 豊実・佐尾 瑠衣花・西辻 勝司・小野 智香子・原 ちえり・山本 将孝

参加者：60名

令和6年度糸東会西日本ジュニア会員サマーキャンプ強化練習会が東大阪大学敬愛高校空手道場に於いて、小学4年生から高校3年生の糸東会西日本ジュニア会員60名参加で行われた。

コーチに井戸康善選手強化委員長をはじめとした6人のコーチの先生方に形・組手の基本から試合形式まで各選手のレベルに応じた指導がなされた。



西日本ジュニアサマーキャンプ集合写真



西日本ジュニアサマーキャンプ講習風景

# ジュニア強化台湾遠征

日 程： 令和6年7月25日（木）～28日（日）

場 所： 台湾 南投市

参加選手： 組手 和泉凜香（高1） 高野秀斗（中3）

形 菅原翔吾（中3） 福井敢太（中2） 藤澤響希（中2）

渡邊直希（中2） 松下想奈（中2） 豊田愛留（中2）

帯同コーチ： 小野 智香子

## 「帯同コーチ感想」

今回の Jr.台湾遠征は、台風の影響により予定のスケジュールからは大幅な変更となり、練習時間も親善試合を含めても6時間と短かったのですが、台湾の方たちのおもてなしや優しさに触れ選手たちも直ぐに打ち解けることができました。今回お世話になった台湾の選手たちは中学生と高校生とが同じ寮に入っており、毎日一緒に練習ができる環境にあるため中学から空手を始めた子でも、レベルが高かったです。またコーチ陣は皆その高校出身者であるため家族のような関係性を感じました。チームワークが良くお互いを注意し合い切磋琢磨している姿が印象的でした。台湾原住民の選手は他の選手と比べ、身体能力の高さとパワーにかなりの差があり驚きました。そんな選手たちと直接練習ができ日本選手全員がスピードとパワー不足を肌で感じることで今後の課題へとつなげることができました。

今回の遠征において日本の選手たちには積極的にコミュニケーションを取ってもらうことを目標にしていました。初日のトラブルもあり台湾に着く前から打ち解け、互いを励まし、声を掛け合えることができていたので良かったと思います。そして空手を通じて人との繋がりの大切さを改めて感じる貴重な体験となりました。今後もこの体験と共に、たくさんの選手に空手を通じて色々な経験ができることを伝えていきたいと思います。

台湾への架け橋となって下さった諸先輩方のおかげで、このような機会を得ることができました。本当にありがとうございました。

## 「選手感想」

### 【和泉凜香】

この4日間の遠征を通して、台湾選手の技術から沢山の事を学ぶことが出来ました。その中でも体幹の強さが凄く、蹴りの体勢が綺麗でした。また、突きの体勢もぶれずに肩のラインが常に整っていました。自分も台湾のコーチから蹴りの時の体勢が倒れているから前足の鼠蹊部を柔らかく。という姿勢についてのアドバイスをいただきました。普段から構え姿勢が倒れ気味なので、体幹を鍛えれば改善できるのではないかと考えました。また、親善試合を通して、日本選手とは違った時間の使い方、圧はあまり感じなかったが、構えが大きく余裕があるように見えました。誰の試合でも近間が多く、どの選手も引き込みからの裏回しが上手でした。足払いのタイミングがよく、転かし技も上手でした。自分の距離が掴めるまでにいつもより少し時間がかかりました。後技が多く大雑把な選手が多く、掴みをする選手も多かったです。このような貴重な体験をさせていただいて、これからの自分の成長に繋がれるようにしたいと思います。ありがとうございました。

### 【高野秀斗】

今回の遠征で、学びや自分の課題を見つけることが出来ました。学びでは、台湾の人たちとのコミュニケーションを取るときに、難しい単語を使わなくても、ジェスチャーや簡単な単語を使えばコミュニケーションを取ることが出来ました。課題は、組手の練習や練

習試合を通して、自分の体の軸を大切にして、次の技に繋げることが僕はまだ出来ていないので、自分の体の軸を大切にして、次の技に繋げることを意識して練習していきたいです。今回の遠征では、自分の課題や海外に行ったことでコミュニケーションの取り方などを知ることが出来ました。また、この遠征は、小野先生や台湾の方々などたくさんの人たちのおかげでとても良い経験をする事が出来ました。今回の遠征を計画してくれてありがとうございました。

#### 【菅原翔吾】

今回の台湾遠征に参加できたこととても光栄に思いますありがとうございました。最初はこの遠征で上手くやっていけるとは正直思っていませんでした。ですが台湾の選手もコーチもとても良い方で私たちを気遣ってくれてとても嬉しかったです。ジャパンメンバーともあまりコミュニケーションが取れていなかったことが一番の不安でしたが、ここまで仲が深まった事が一番の驚きでした。そして実際に台湾の選手たちと共に練習をして、最初感じたことは、アップで心拍数をあげながら空手の動きを合わせ、体をほぐしていても良いなと感銘を受けました。日本に帰って実際に普段の練習に取り入れたいと思いました。基本練習は間近でトップ選手と相対して体の使い方や間合い動きなどたくさん真似しながら練習ができて確実にレベルアップできました。親善試合では自分の実力と周りの実力がよく分かって新たな課題が見つかりました。自分と上手い選手の大きな違いは練習量で、台湾の選手と日本の上手いメンバーにどのくらい練習をしているのか聞きそのレベルまで行くのにはそこまでやらないといけないというのがはっきりしました。組手の試合もこんなに上手い台湾の選手とするのは貴重なチャンスはないので挑戦してみました。相対してたじろいでしまい思い切った技がでず中途半端になってしまいました。そして足腰が弱く簡単にこかされてしまいました。組手での課題は思い切り技を出し足腰の強化をすることです。台湾のコーチの先生方はとても手厚い対応して下さい、遠征を楽しく有意義ものになりました。コーチ、選手には感謝してもしきれないです。またこのような遠征や試合の機会を与えて下さった糸東会と母に感謝したいと思います。また参加できる機会があれば是非参加したいです。

#### 【松下想奈】

今回の台湾遠征で学んだことは試合で使える自由形を増やさないといけないということです。私が今試合で使える自由形は2つくらいしか持っておらず、練習試合の際に、台湾の選手達はアーナンやパープーレン、チャタンやラクーシャクなどの沢山の自由形をしていて、その選手に勝てるようにするには自分の使える自由形を増やさないと勝てないということを実感しました。これからは今までよりも沢山の自由形を試合で使えるように練習していきたいと思います。台湾のコーチや選手は練習や観光の際、あまり言葉は通じないけれど簡単な英語や日本語、身振り手振りを使ってやることや物の説明をしてくださり、とても優しく、親切な人達でした。関わってくださったすべての人達に感謝してこれからも空手を頑張っていきたいと思います。

#### 【藤澤響希】

初めはあんまりコミュニケーションとか食事やお金など心配なことが沢山あり心配でしたが一緒に行った人とも早い段階で仲良くなれ、台湾の人達もみんな親切で優しく会話する時もジェスチャーなどで分かりやすく説明してくれてコミュニケーションなどは、全然困りませんでした。食べ物も初めは体を壊さないか心配でしたが大丈夫でした。持ち物も先生の言った通りに準備したら大丈夫でした。台湾の形の選手はみんな基本が上手でスピードや体の使い方、また下半身の安定感が凄く全くブレないので参考にしたいと思いました。組手の選手は間合いの取り方が上手でした。また、体感がとても強くてすぐに、こかされてしまったので自分も体感を強くしたいなと思いました。この台湾遠征は沢山の人の協力のおかげで、出来たのだと思います。この遠征で空手以外にも様々なことを学び、とてもいい経験になりました。また、この様な遠征があったら参加したいと思いました。

#### 【豊田愛留】

私は、今回の遠征がとてもいいものになって良かったなと思います。普段あまり関わる事のない台湾のみなさんからたくさんのお話を学ぶことができ、自分の課題も見つけることが出来ました。1日目の組手のトレーニングでは、台湾の方の速く、柔軟な動きを見

ることができ、いい勉強になりました。あのような動きが自分にもできるように、自宅でのトレーニングを欠かさないようにしたいと思いました。2日目の形の試合は、初戦で負けてしまいましたが、台湾の選手の形が見られてとても勉強になりました。1日目にも感じたように、台湾の選手はしっかりと体の内側が鍛えられていて、スピードが速く、凄かったです。台湾の方ともたくさん仲を深められましたが、一緒に行った日本の選手ともより仲が深まって良かったと思いました。たくさんのトラブルが重なり、大変な場面もありましたが、そのおかげで仲が深まったところもありました。これからの強化練習でも積極的にコミュニケーションをとってきたいです。海外への遠征は初めてだったので、緊張や不安もありましたが、とてもいいものになって良かったです。機会があれば、また海外への遠征に行ってみたいなと思っています。ありがとうございました。

### 【福井敢太】

今回の台湾遠征を通して学びや気付き、自分への課題などがありました。

まず、この台湾遠征の練習の中で学んだことは、自分の体の軸を真っ直ぐに保つことです。軸が傾いていたら形でも組手でも次の技に繋がられないので、しっかり体の軸を真っ直ぐに保ち、次の技に繋げて形や組手をするという事を学びました。他に学んだ事は、コミュニケーションです。最初はなかなかみんなとコミュニケーションが取れなかったけれど、一緒に過ごしていくうちにだんだんとコミュニケーションが取れるようになって楽しくなりましたし、台湾の人たちも短い期間だったけれど仲良くコミュニケーションをとってくれたので、コミュニケーションは自分自身にとってとても重要な事だと再認識しました。次に気付いた事は、台湾の人たちは元気があった事です。アップの時のかけ声や形を打っている時の気合いなどがすごく大きい声で元気があったので、ぼくも練習の時や形を打っている時に元気のある声大きい声を出すと決めました。

次は自分への課題です。形では先生が「体の軸を意識して回ってみ」や「もうちょっとしなやかに動いてみ」などを指摘していただきましたが、練習をしてもなかなかコツがつかめなかったため、これらを道場の練習や家の自主練の時にその部分を意識して練習をし、形をレベルアップさせていきたいです。他にも台湾の人たちはみんな力強さがあったので、ぼくも力強さを表現できるようにもっとトレーニングをしていきます。組手では蹴りをする時に軸が後ろに倒れてしまっているため、しっかり軸を真っ直ぐにして蹴りをする事を身に付けたいです。今回の台湾遠征を通して自分に何が足りていないのか見つける事が出来ました。

最後にこの台湾遠征でお世話になった小野先生、台湾チームの方々、そしてこのような機会をくださった親に感謝します。このような機会は簡単には経験できないので良い経験になりました。またこのような機会があれば新たな発見のために参加したいと思います。この度は本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

### 【渡邊直希】

私は、今回の台湾遠征でコミュニケーションの取り方と課題を2つ見つけました。コミュニケーションは、前まであまり話せてなかった先輩方とも自分から喋ることでコミュニケーションを取ることができました。台湾の人とも台湾の言葉は、わからないけれど翻訳機を使わずにジェスチャーなどで相手に伝わり、コミュニケーションを取ることができました。課題の1つ目は、スピードです。台湾の選手、日本選手の形を見て自分には、スピードが足りないと思いました。スピードを出すためのトレーニングをたくさんして次に挑みたいです。

2つ目は、試合中に力を抜くことです。試合の時に、いつも肩に力が入ってしまいます。緊張して肩が上がってしまうので緊張してもいつでも肩を下に下ろすように意識して形をやりたいです。

また、今回の台湾遠征のトラブルなどに素早く対応してくださった小野先生いつでも親切にしてくださった台湾の方々、今回の台湾遠征に関わってくくださった皆様、本当にありがとうございました。







# 糸東会九州地区選手権大会



## 第26回（一社）全日本空手道連盟糸東会九州地区選手権大会

2024年8月4日 会場：霧島市サン・あもり体育館



# 鹿児島県糸東会 昇級昇段審査会



## 2024年度第1回鹿児島県糸東会昇級昇段審査会

2024年6月16日 会場：曾於市総合体育館



## 茨城県糸東会よりの活動報告

### 結城市制70周年記念第40回記念青少年空手道結城大会

### カザフスタン共和国空手連盟組手セミナー

令和6年8月24・25日（土・日）の2日間、茨城県結城市のかなくぼ総合体育館において、結城市制70周年記念第40回記念青少年空手道結城大会が開催されました。

関東各地から1日目は小学生の部として320人の選手が、2日目は中高生の部として、150人の選手がそれぞれ参加し、熱戦が繰り広げられました。

両日の大会終了後には、結城市をホストタウンとするカザフスタン共和国から、東京オリンピック空手競技に出場した4人を含む9人の選手による組手セミナーが開催されました。また、結城誠和塾出身、元日本代表の染谷香予さんもセミナーに参加し交流を深めました。

#### 【結城市とカザフスタン共和国】

東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプ地誘致を行っていた結城市に、WKFゼネラルマネージャー亀谷誠康（糸東会常任理事）氏から、空手競技の事前キャンプ地を探していたカザフスタン共和国の紹介を受けました。

カザフスタン共和国空手連盟前副会長の故ジャスタラップ氏が、以前からカザフスタン共和国で指導をしていた野澤幸洋（糸東会副会長）氏を師事していた経緯から、野澤氏の仲介によって空手競技の事前キャンプ地に結城市が選ばれました。そして、2018年に東京オリンピックホストタウンの盟約が結ばれ、現在も交流が続いております。

来賓：（一社）全日本空手道連盟糸東会 副会長 野澤幸洋  
（一社）全日本空手道連盟糸東会 副会長 有田 豊  
茨城県糸東会 会長 渡辺芳朗  
栃木県糸東会 会長 小林方人（栃木県空手道連盟理事長）

主催： 結城市空手道連盟 結城誠和塾 会長 福島良一（糸東会 常任相談役）  
塾長 宮本臣久（糸東会 理事）



大会及びセミナー風景

# 第64回空手道系東会全国選手権大会

日時：令和6年8月17・18日（土・日）

場所：東京武道館

※全国大会詳細につきましては、次号会報誌No.285でご紹介致します。





# 東京都糸東会空手道選手権大会

日 時：令和6年4月21日（日）

場 所：文京区スポーツセンター



## 2025年度糸東会カレンダーのご案内

### 2025年度糸東会カレンダー購入のお願い

日頃より糸東会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この夏、東京武道館で開催しました第64回空手道糸東会全国選手権大会の熱戦や各県大会での写真などを掲載した、2025年糸東会カレンダーを作成致します。販売方法につきましては、従来通りになります。多くの皆様にご購入して頂きたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。

#### 申込・問い合わせ先：

財務委員会委員長 室井忠顕

携帯：090-4963-0975

FAX：026-666-7116

メール：shito.muroid@gmail.com

※掲載のカレンダー表紙は、イメージになります。

